

# Rotary



# HIGASHI-OSAKA EAST R.C.

国際ロータリー 第2660地区 東大阪東ロータリークラブ

## CLUB WEEKLY No.2675

国際ロータリー会長  
ホルガー・クナーク



ロータリーは  
機会の扉を開く

会長 齊藤 勝俊

「会員基盤、そして、  
つながりを維持・強化  
しよう」



月間テーマ

ロータリー親睦活動月間

例会日：2021年6月3日  
(令和3年6月3日)

### 今日の例会

2021年6月3日

- 米山奨学生報告  
ズオン ニアット リン さん
- 今日の歌 「君が代」「四つのテスト」
- 例会後 6月度定例理事会 13:00~/ZOOM  
新旧合同理事会/ZOOM

### 来週の例会

- 6月10日(木)ZOOM例会  
12:30~13:00
- 例会後 新旧合同クラブ協議会  
13:00~/ZOOM

### 会長の時間

齊藤会長

「ロータリー親睦活動月間」によせて

- 1 米山梅吉翁がポール・ハリスの「This Rotarian Age」を翻訳するにあたって、その書名を「ロータリーの理想と友愛」としたことは、理想=奉仕、友愛=親睦 を意味するものであり、戦前のクラブ組織表では、親睦活動委員会を友愛委員会と称していました。
- 2 ロータリーが定義する親睦とは、ロータリークラブがクラブとして存続していく上で欠かすことができない必要条件としての「ロータリアン個々人の心が結合した状態」を表す概念なのです。
- 3 ロータリー運動の実体を見事に表した言葉として、「入りて学び、出でて奉仕せよ。」という言葉があります。世の中のあらゆる職業から選ばれた職業人が、一週一回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれます。この例会における一連の活動のことを「親睦」と呼ぶのです。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが理想的なロータリー・ライフであるとされています。
- 4 親睦活動委員会は、「家族会」その他の重要な活動を担いますが、その最大の任務は、例会において、いかに友情を深めるか、いかにしたら真の親睦を保つような環境を整備することができるかを考えて、実行することなのです。

東大阪東ロータリークラブ

HP: <http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長: 齊藤 勝俊  
幹事: 浅浦 哲夫  
会報資料担当: 田中 邦夫

創立: 昭和40(1965)年3月4日 例会場: ホテルセイリュウ 例会: 毎週木曜日 12:30~  
事務局: 〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリュウ302号室  
TEL072-985-0189 FAX072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

《これからの予定》

- 【1】 本日例会後、6月度定例理事会ならびに  
新旧合同理事会 13:00～／ZOOM
- 【2】 6/8(火)衛星クラブ例会 19:00～
- 【3】 6/10(木)ZOOM例会後、新旧合同クラブ協  
議会／ZOOM
- 【4】 6/17(木)ZOOM例会後、次年度新理事会  
／ZOOM
- 【5】 6/22(火)衛星クラブ例会 19:00～
- 【6】 6/23(水)東輪会新旧会長・幹事歓送迎会  
(齊藤会長、河村会長エレクト、浅浦幹事、  
古川次年度幹事出席)
- 【7】 6/24(木)退任挨拶
- 【8】 6/25(金)IM第4組会長・幹事会(金輪会)  
／ZOOM

＜連絡事項＞

- 【1】 10日、17日の例会につきましてもZOOMで  
開催させていただきます。次週10日の例会  
終了後は引き続きZOOMで新旧合同クラブ  
協議会を開催いたします。多数のご参加よ  
ろしくお願い致します。

## 委員会報告

◎ロータリー財団委員会

古川委員長

この度、大橋会員にご協力いただきました。有難う  
ございました。6月のロータリーレートは109円です。  
引き続き皆様の御協力をよろしくお願い致します。

## 出席報告

5月27日

先週(5/27)の出席者数:23名(2)  
(内、事務所出席4名)

5/27出席率:46.0%

※( )内数字は出席免除会員の出席者数  
会員:60名(免除12名)

	4/8～5/6	5/13	5/20
HC出席	休会	27(4)名	28(3)名
MU出席		6(1)名	4(1)名
修正出席率		62.26%	61.54%

ZOOM句会を数回してきましたが、やはり盛り上がり  
に欠けます。と思うのは私だけでしょうか？俳句とい  
う日本独特の世界を離ればなれで時間だけ共有す  
るのと「空間と時間」すなわち「場」を共有するのと  
では、大きな違いがあるように思います。できれば、6  
月末の句会には、メンバーが集まって広い会場で  
出来る事を期待しておりますが、ワクチンの摂取率、  
医療の逼迫等を考えると緊急事態宣言が解除され  
ていても、もう少し我慢が必要な状況ですかね。

2021年5月 ER輪の会俳句 自薦句

邦夫 薫風や水満々と千枚田  
太 薫風に誘われ一人山歩く  
尊春 いちご狩り頬張る吾子の紅ほっぺ  
靖明 横並びいちごパフェに老夫婦  
とも子 眩さに若き日よぎる青楓  
精一 路地裏も砂利の隙間に罌粟の花  
春正 紫陽花や心安らぐ雨が好き  
正信 満開の雨湧く中の山つつじ  
洋子 一匹となり水替える目高かな  
安徳 睨めっこふんすと嗤う墓  
侑才 ひび割れのアスファルトにも緑の葉